

# OIEのBSEリスクステータスの状況 (2016年5月)

ステータス	リスク評価	サーベイランス	リスク低減措置	認定を受けた国・地域
無視できるリスク (47か国・地域)	実施	B型サーベイランス※を実施中  ※5万頭に1頭のBSE感染牛の検出が可能なサーベイランス(例:日本の飼養規模の場合15万ポイントが必要)	①過去11年以内に自国内で生まれた牛で定型BSEの発生がないこと。  ②有効な飼料規制※が8年以上実施されていること (※反すう動物由来肉骨粉の反すう動物への給与禁止)	アイスランド、アメリカ合衆国、アルゼンチン、イスラエル、イタリア、インド、ウルグアイ、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、韓国、キプロス、クロアチア、 <u>コスタリカ</u> 、 <u>コロンビア</u> 、 <u>シンガポール</u> 、 <u>スイス</u> 、 <u>スウェーデン</u> 、 <u>スペイン</u> 、 <u>スロバキア</u> 、 <u>スロベニア</u> 、 <u>チェコ</u> 、 <u>中国</u> (香港・マカオを除く。)、 <u>チリ</u> 、 <u>デンマーク</u> 、 <u>ドイツ</u> 、 <u>ナミビア</u> 、 <u>日本</u> 、 <u>ニュージーランド</u> 、 <u>ノルウェー</u> 、 <u>パナマ</u> 、 <u>パラグアイ</u> 、 <u>ハンガリー</u> 、 <u>フィンランド</u> 、 <u>ブラジル</u> 、 <u>ブルガリア</u> 、 <u>ポルトガル</u> 、 <u>ペルー</u> 、 <u>ベルギー</u> 、 <u>マルタ</u> 、 <u>メキシコ</u> 、 <u>ラトビア</u> 、 <u>リトアニア</u> 、 <u>リヒテンシュタイン</u> 、 <u>ルーマニア</u> 、 <u>ルクセンブルグ</u>
管理されたリスク (8か国・地域)	実施	A型サーベイランス※を実施中  ※10万頭に1頭のBSE感染牛の検出が可能なサーベイランス(例:日本の飼養規模の場合30万ポイントが必要)	有効な飼料規制※が実施されていること。 (※反すう動物由来肉骨粉の反すう動物への給与禁止)	アイルランド、イギリス、カナダ、ギリシャ、台湾、ニカラグア、フランス、ポーランド
不明のリスク (その他の国・地域)	無視できるリスク、管理されたリスクのいずれにも該当しない場合			

更新点: 第84回OIE総会(2016年5月)において、下線の国が新たに「無視できるリスク国」として認定